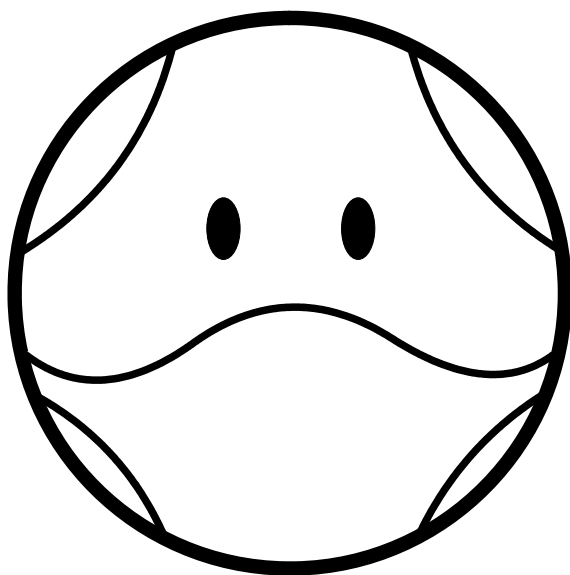


ガンダムかるた

基本セット解説書



あ

ああいいよ  
憎<sup>にく</sup>んでくれて  
かまわんよ



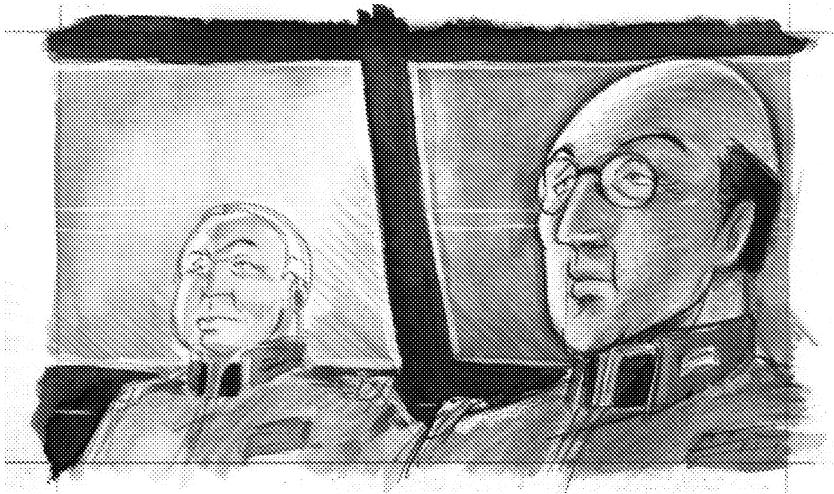
## 第2話「ガンダム破壊命令」より

ホワイト・ベースを守るために闘うことになったアムロは、初めて「赤い彗星」のシャアとモビルスーツの格闘戦を行う。苦戦の末艦に戻ったアムロに、ブライトからの、ガンダムをまかされたからには責任は果たさねばならぬのだという厳しい言葉が投げかけられる。

ブライトに憎しみの感情を覚えるアムロ。そんな彼にブライトは言うのだった。「憎んでくれてかまわんよ」と。

い

いつまでも  
やっかい<sup>もの</sup>者かな  
ホワイトベース



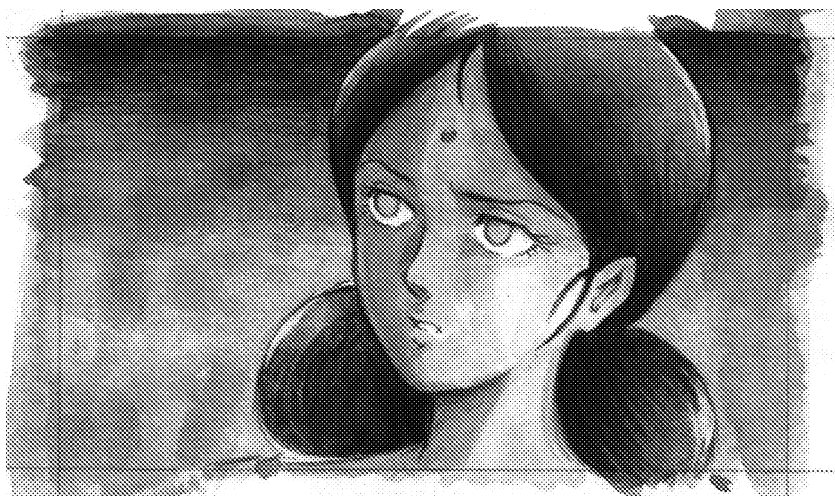
第29話「ジャブローに散る」より

南米の連邦軍本部ジャブローに向かうホワイトベースの動きをシャアは密かにキャッチしていた。彼は、本部の宇宙船用ドックに入るホワイトベースの動きを追い、ついにジャブロー最大の入り口を探りだす。そして、キャリホルニア基地からの援軍を得ると、ジャブローに一斉攻撃を開始する。

ホワイトベースがつけられたと悟った連邦の将軍たちは、彼らをやっかいものと呼ぶのだった。

う

うつく  
美しい  
ものが<sup>きら</sup>嫌いな  
<sup>ひと</sup>人がいて？



### 第34話「宿命の出会い」より

ホワイト・ベースが立ち寄ったサイド6で外出したアムロは雨に降られる。彼は一軒の家で雨やどりをするがそこで白鳥の死を予知する不思議な少女と出会う。彼女こそジオン軍がそのニュータイプとしての才能を高く評価し、実戦に投入すべく準備を進めていたララァ・スン少尉だった。

そうとは知らぬアムロが白鳥のことを尋ねると、ララァは「美しいものが嫌いな人がいるのかしら」と答えるのだった。

え

エルランの  
うらぎ裏切りあば暴く  
アムロレイ



## 第25話「オデッサの激戦」より

オデッサ・デイの開始直前、偵察に出たアムロとセイラは、ジオンの前線から連邦軍の小型連絡機が密かに発進するのを目撃する。不審に思った二人が後をつけると同機はエルラン将軍のビッグトレーに着艦した。

アムロはエルランに証拠の写真を示し、連絡機のパイロット、ジュダックがスパイではないかと告げる。するとエルランは、アムロを射殺しようと拳銃を取り出す。これにより、彼の正体が暴かれた。

お

ねが  
お願いよ  
キャスバル<sup>にい</sup>兄さん  
もうやめて



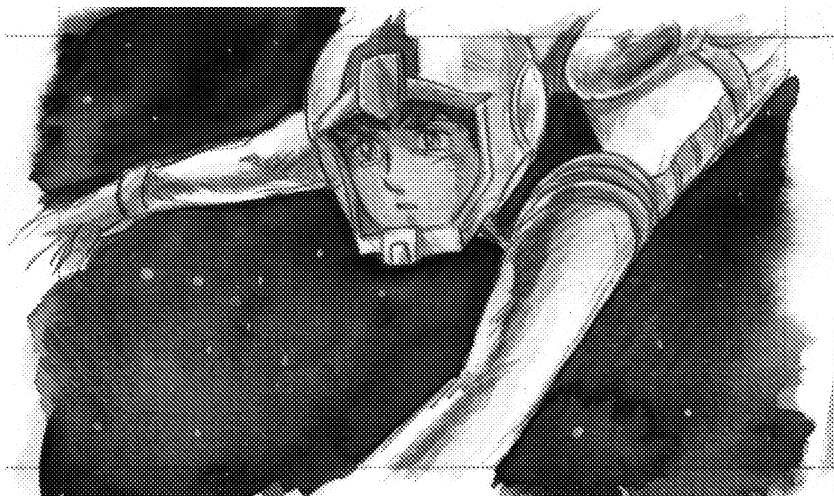
### 第38話「再会、シャアとセイラ」より

テキサスコロニーで連絡を断ったガンダムを捜索するためホワイトベースからバギーで出たセイラは、その途中でシャアと出会う。彼こそセイラの生き別れの兄キャスバルなのだ。

セイラに軍を抜けろと迫るシャア。セイラは、兄さんこそザビ家に復讐するためジオン軍に身を置くなどやめてほしいと頼む。だが彼は聞き入れず、彼女の元を去ってしまう。

か

かえ  
帰れるぞ  
こんなに嬉しい  
ことはない



### 第43話「脱出」より

ジオンの最終拠点宇宙要塞ア・バオア・クーでシャアとの死闘を演じたアムロには、もはやガンダムは残されてはいなかった。爆発を繰り返し焼け落ちる要塞の中でアムロは、我が身に最後の時が迫っているのを感じていた。しかし、破壊されたガンダムのところへたどり着いた時、コアファイターが残っているのに気づく。

まだ助かる。傷ついた彼は機体を切り離すと、ホワイトベースの仲間たちのところへ帰っていく。

き

キシリアと  
はじ初めてたか闘う  
アムロレイ



第18話「灼熱のアッザム・リーダー」より

ホワイトベースを脱走したアムロは、一人ジオンの鉱物採掘基地を襲撃する。おりしもジオンの宇宙攻撃軍指令キシリア・ザビ少将が地球を訪れていた。彼女は部下のマ・クベと共にアッザムに乗り込みガンダムを迎え撃つ。

アムロは苦戦の末アッザムを仕留めるが、連邦のモビルスーツの手ごわさを痛感したキシリアは、開発中のモビルスーツの完成を急ぐことを決意するのだった。



<

喰<sup>く</sup>って行<sup>い</sup>け  
わしのおごりだ  
アムロ<sup>くん</sup>君



### 第19話「ランバ・ラル特攻！」より

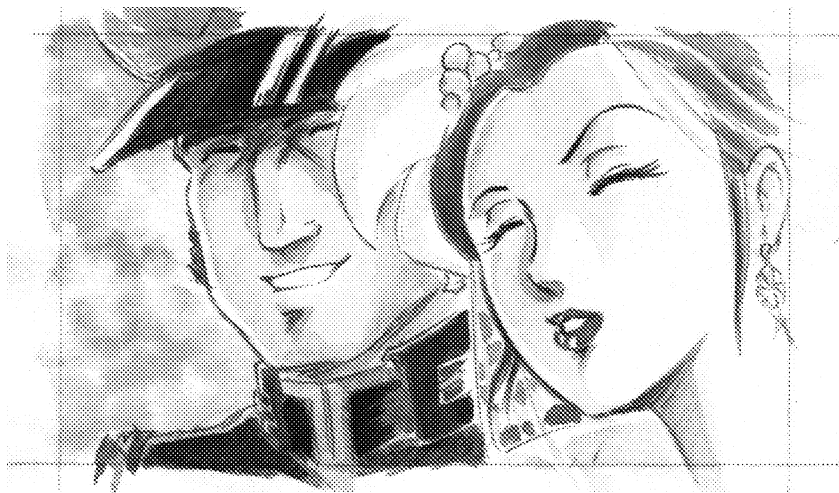
ホワイトベースを脱走したアムロは、一人砂漠を彷徨っていた。さびれたレストランにたどり着いた彼は、そこで偶然ジオン兵の一行と出会う。彼らこそ、ホワイトベースを撃ち取らんものと追撃してきたランバ・ラルとその部下たちだった。

アムロを一目見たラルの妻ハモンは、君のことが気に入ったから食事をおごるといふ。断るアムロに、今度はランバ・ラルまでもがおごると言い出す。

け

けっこん  
結婚を

するはずだった  
マチルダと



第29話「ジャブローに散る」より

南米の連邦軍本部ジャブローにたどり着いたホワイトベースは、ウッディ大尉の指揮の下、本格的な補修工事を施されることになった。このウッディ大尉こそ、ホワイトベースの危機を再三にわたって救い、ついに戦死したマチルダ中尉の婚約者であり、二人はオデッサの戦いが終了した後、式を挙げる予定だったのだ。

ウッディ大尉はマチルダが手をかけたこの艦を愛していると言う。

こ

この人は  
<sup>ひと</sup>  
僕をかたきと  
<sup>ぼく</sup>  
言ったんだ  
<sup>い</sup>



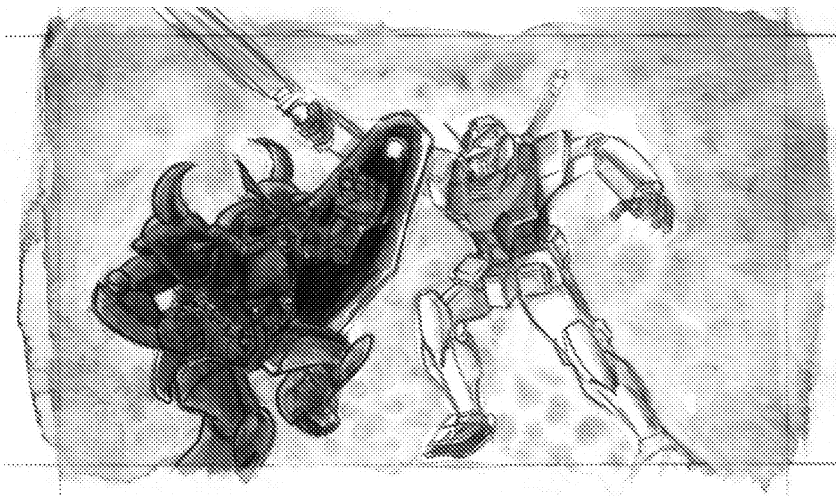
### 第11話「イセリナ、恋のあと」より

婚約者ガルマ・ザビを殺されたイセリナ・エッシェンバハは、ガルマの仇を討つため、ガルマ直属の部下ダロタ中尉に命じてガウ攻撃空母を発進させる。アムロはガンダムでこれを撃破するが、墜落してきたガウのためにガンダムの回路をやられてしまう。

コックピットを出て調査するアムロにイセリナは「ガルマ様の仇」と叫んで銃を向けるが、そのままガウの上から落ちて命を失ってしまう。

さ

ザクなどと  
ちが違っているのさ  
このグフは



## 第12話「ジオンの脅威」より

戦死したガルマ・ザビの仇を討つため地球に派遣されてきた部隊のリーダー、歴戦の勇士ランバ・ラルは新型モビルスーツ「グフ」に乗り込みホワイトベースに戦いを挑んできた。その恐るべきパワーと装甲にアムロは驚かされる。

ガンダムを攻撃を難なく防いだラルは、「ザクとは違うのだよ、ザクとは」と不敵に笑った。

し

し  
死んだのは  
ほう  
坊やだからさ  
ガルマ・ザビ



## 第12話「ジオンの脅威」より

親友のガルマ・ザビを密かに謀殺したシャア・アズナブルは、ガルマを守り切れなかった罪を問われて左遷されていた。そんな時、地球と全てのコロニーに流された放送でガルマの兄、ジオン公国の総帥ギレン・ザビは問う。「弟のガルマは死んだ。何故だ」と。

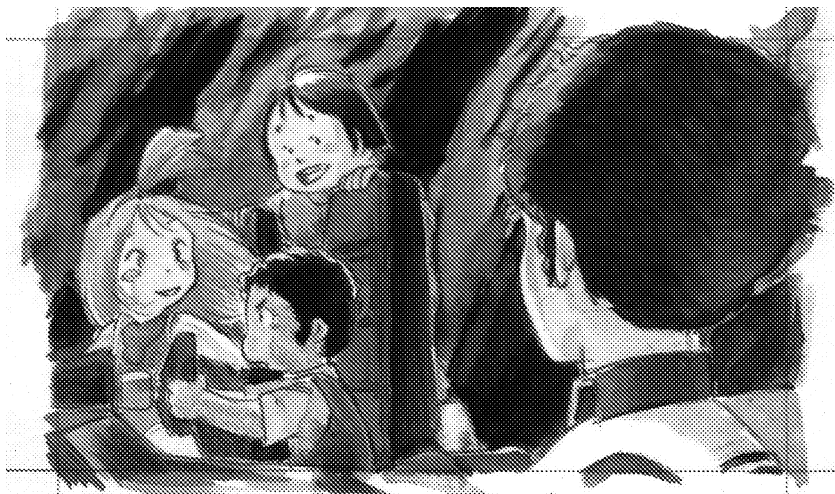
場末の酒場で一人酒をあおっていたシャアは、その問いに「坊やだからさ」とつぶやき返すのだった。

す

<sup>す</sup>捨てる<sup>と</sup>こ

ジオンがしかけた

<sup>はくだん</sup>爆弾を



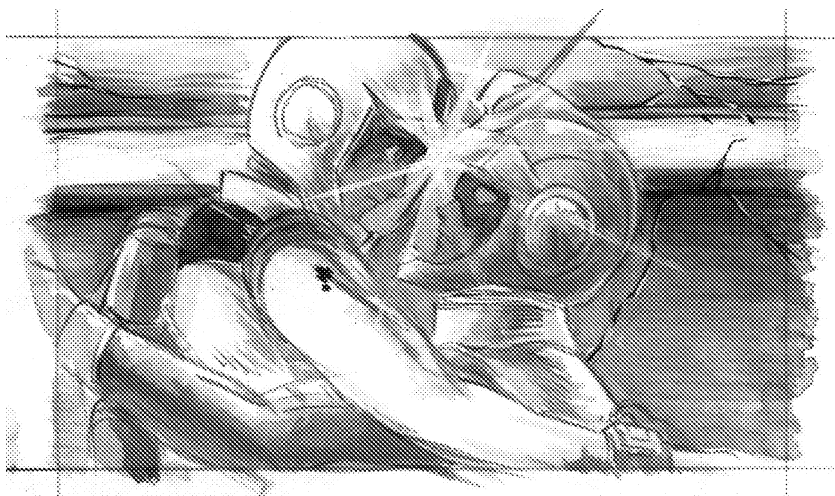
### 第30話「小さな防衛線」より

南米の連邦軍本部ジャブローにたどり着いたホワイトベースの一行は、カツ、レツ、キッカの3人の子供たちを艦から降ろすことにする。一度は育児官の下に引き取られた3人だったが、脱走してしまう。

逃げる途中でガンダムの量産タイプ「ジム」の工場に立ち寄った彼らは、ジオンの作業員が爆弾を仕掛けるのを目撃する。3人は爆弾を取り外すと、それを捨てようと車を走らせる。

せ

せんそう  
戦争の  
どうぐ  
道具ではない  
ニュータイプ



### 第43話「脱出」より

アムロがサイド7でガンダムに乗り込んで以来のシャアとの因縁に決着をつける 때가、ついにやってきた。

ジオンの宇宙要塞ア・バオア・クーでガンダムとシャアのジオングは相討ちとなる。なおもノーマルスーツに身を包み、要塞内の一室で剣をとって闘う二人。その時二人に、死んだラァからの声が届いた。ニュータイプは殺しあう道具ではない、と。

そ

そんなので  
じょうだん  
冗談ではない  
やめてくれ



### 第29話「ジャブローに散る！！」より

不眠不休でホワイトベースの補修作業を指揮するウッディ大尉。そんなとき、シャアの率いるジオン軍が連邦軍本部ジャブローに進入する。なんとしてもホワイトベースを守ろうとするウッディ大尉は、ホバークラフトで出撃する。

ズゴックを操るパイロットがシャアだと悟ったアムロはウッディを制止するが、ウッディは構わず攻撃を仕掛け、シャアに「冗談ではない」と撃墜される。



た

たの  
頼んだぞ

いいものだからな

あ<sup>つぼ</sup>の壺は



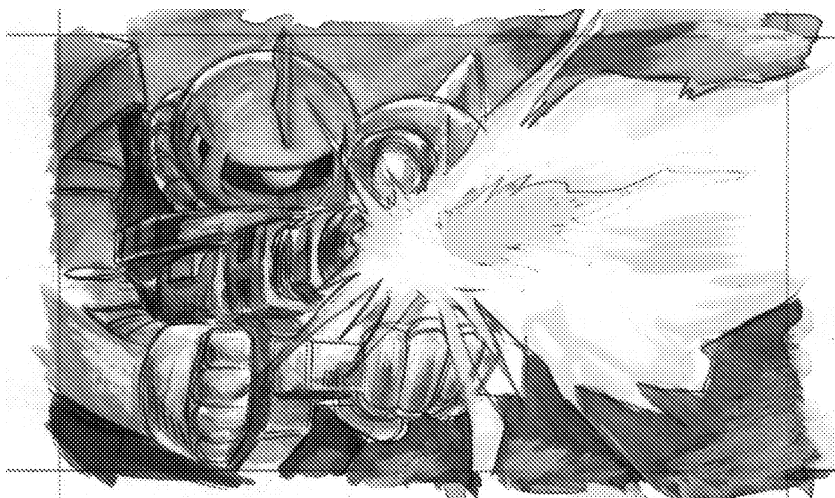
### 第37話「テキサスの攻防」より

シャア大佐にライバル心を燃やすマ・クベは、上官キシリアが自分のために開発してくれたモビルスーツ「ギャン」で、なんとしてもガンダムを倒さねばならぬと考えていた。

テキサスコロニーに数々の罠をはり、ガンダムを誘い込むマ・クベ。ゲルゲグに乗り込んだシャアの助けをねつけた彼はガンダムに一騎討ちを挑むが、ニュータイプとして覚醒しつつあったアムロの敵ではなかった。

ち

ちきゅう  
地球では  
じゆうらっか  
自由落下と  
い  
言うものの



## 第7話「コアファイター脱出せよ」より

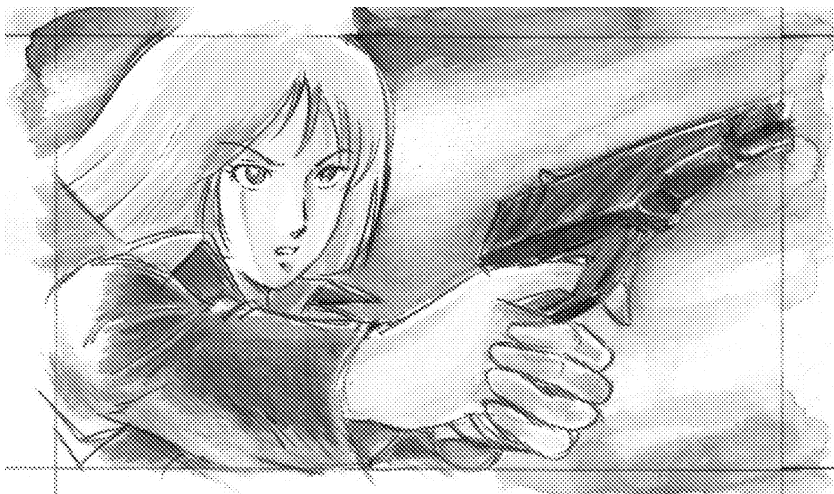
アムロは連邦軍から孤立したホワイトベースを救うためコアファイターを発進させ、弾道軌道に乗って敵の防空網を飛び越えようとする。

作戦を察知したシャアはコムサイでこれを迎え撃ち、自らはザクで出撃する。ガンダムに換装したアムロは、自由落下で地上につくまでの間に勝敗を決すべく闘いを挑むが・・・。

つ

つよ  
強すぎる

アルテイシアに  
似ているが



第2話「ガンダム破壊命令」より

連邦軍のV作戦を追ってサイド7に攻撃をしかけるシャア。彼はさらにノーマルスーツでコロニー内に侵入し、秘密を探り出そうとする。だが、その前に一人の少女が立ちふさがる。コロニー内を見回っていたセイラだ。彼女こそ、シャアの生き別れの妹アルテイシアだった。

驚くシャア。だが、彼女が敵兵に銃を向けるとは。強すぎるのだ、あの優しくったアルテイシアにしては。

て

では何だ  
この僕たちの  
出會いって



#### 第41話「光る宇宙」より

本国への最終防衛線、宇宙要塞ア・バオア・クーに迫る連邦軍に対して、ジオンはついにニュータイプ、ララアを実戦に投入してきた。その戦場にホワイトベースが近づく。ここに二人のニュータイプ、ララアとアムロが出会った。

自分を救ってくれた人のために闘うと言うララア。そして、アムロには守るべきものも帰る場所もないことを見抜く。では、この二人の出会いとは、一体……。

と

ときどきの  
じょうきょうしだい  
状況次第で  
かんが  
考えろ



第21話「激闘は憎しみ深く」より

ランバ・ラルを失ったハモンは、生き残った部下をまとめてホワイトベースに最後の決戦を挑んできた。激しい闘いが繰り広げられる中、傷ついたリュウは何もできない自分に憤りを感じていた。

ガンタンクが故障して動けなくなったとき、リュウはしびれを切らして応援に駆けつけ、コアファイターだけでも使えと叫ぶと、自ら操縦席に乗り込み出撃して行くのだった。

な

なく  
殴られもせず  
えら  
偉くなった奴が  
やつ  
どこにいる



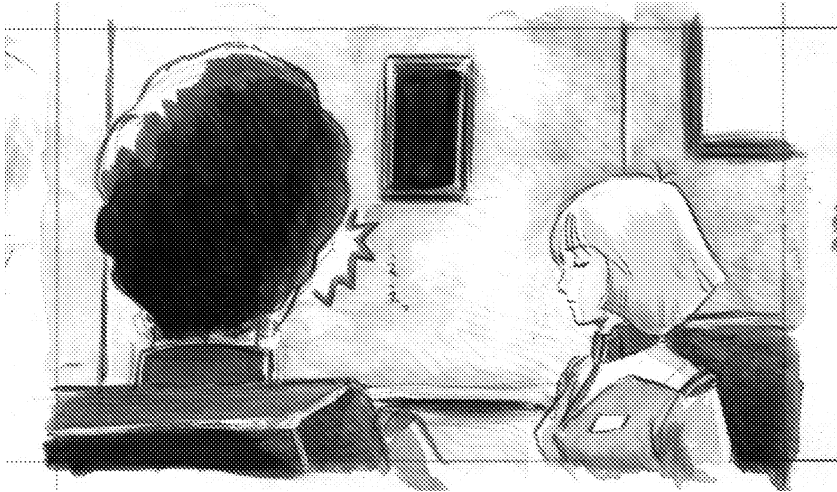
## 第9話「翔べ！ガンダム」より

サイド7を脱出してからのたび重なる戦闘に、アムロは身も心も疲れ果てていた。だがそんなことには関わりなく、ガルマ・ザビ率いるジオンの地上部隊がホワイトベースに対して執拗な攻撃を繰り返してくる。ブライトはアムロに出撃を命じるが、アムロはそれを拒否してしまう。

怒ったブライトはアムロの船室にやって来て命令に従うようせまるが、アムロは聞き入れず、ついにブライトはアムロを殴る。

に

<sup>にい</sup>兄さんは  
<sup>たいさ</sup>シャア大佐なの  
<sup>おどろ</sup>驚いた？



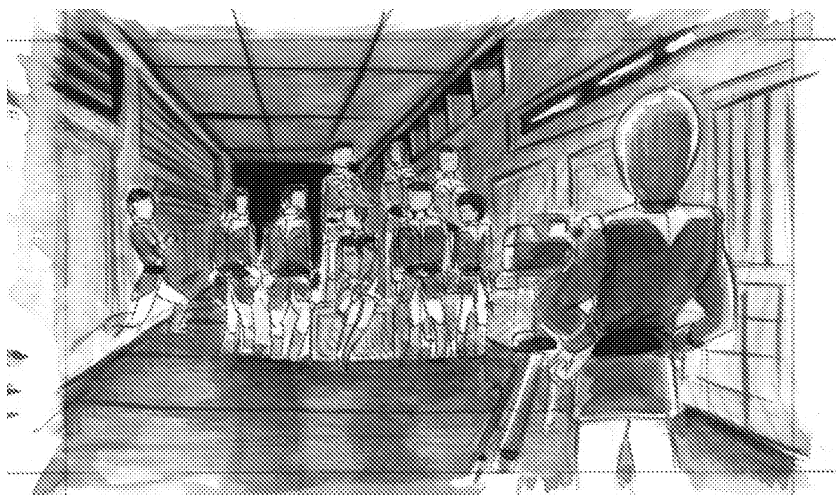
### 第39話「ニュータイプ、シャリア・ブル」より

テキサスコロニーの出口に金塊が残されていた。一緒にあった手紙がセイラ宛であったことから、ブライトはセイラから話を聞く。差出人はシャアであると言われて驚くブライトに、セイラはあらためてシャアこそが自分の兄なのだと説明するのだった。

このままではその兄と闘わなくてはならない。それを承知でホワイトベースに残る道を選ぶというセイラ。ブライトは今まで通りに彼女を扱うと約束する。

ぬ

<sup>ぬ</sup>抜けがけは  
だめだよ僕も<sup>ほく</sup>  
<sup>い</sup>入れとくれ



## 第24話「迫撃！トリプル・ドム」より

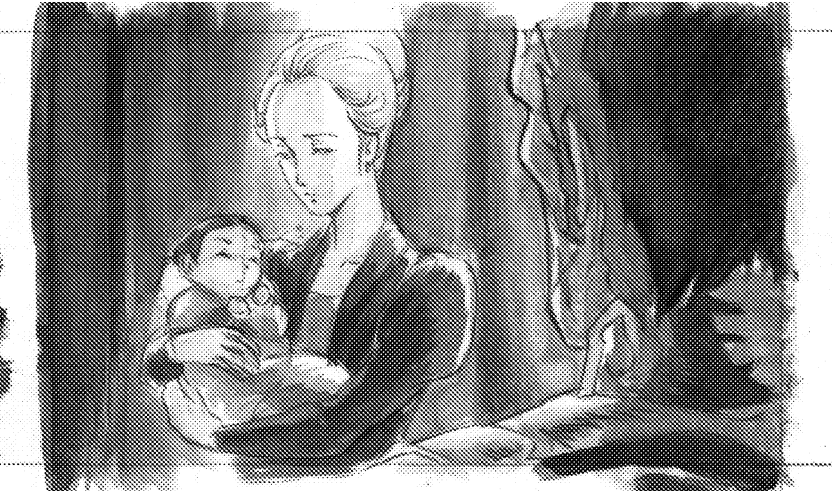
若く美しく優秀なマチルダ中尉は、ホワイトベースの少年たちにとって憧れの的であった。彼女のうわさ話をしていたカイは、その話を偶然通りかかった本人に聞かれてしまう。

カイは、恥のかきついでと彼女に記念写真を撮らせてくれと願い出る。すると、ほかの少年たちも一緒に撮ってくれ、と押しかけてくるのだった。



ね

ねてるのに  
こえ  
声がかいぞ  
ドズル・ザビ



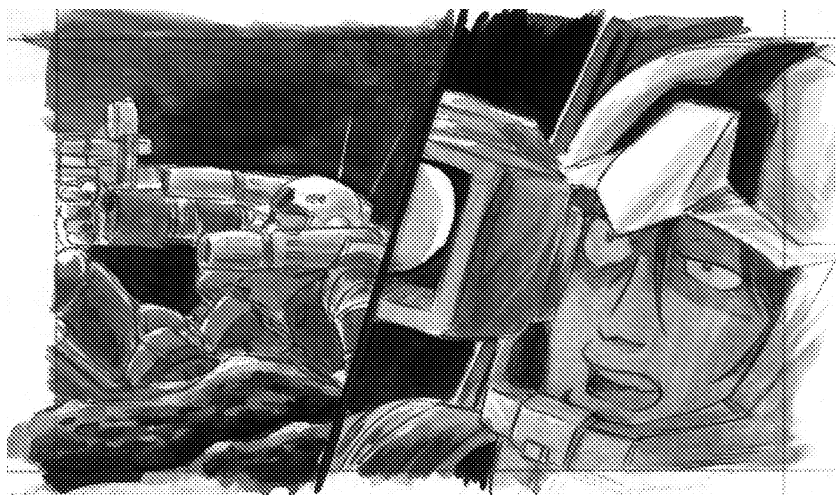
第35話「ソロモン攻略戦」より

連邦軍は、ついにジオンの戦略上の拠点、要塞ソロモンに総攻撃をしかける。ソロモンの指揮をとるのは、ザビ家の次男ドズル・ザビ中将である。

大挙して押し寄せる連邦軍を前に、ドズルは指揮官として部下たちの士気を鼓舞し続けていたが、静かに席を立つと家族の待つ部屋を訪れ、万一の場合に備えて要塞を出ると妻ゼナに告げる。その声は眠っていた彼の最愛の娘ミネバを起こしてしまう。

の

の  
乗り込めば  
危険が待ってる  
敵要塞



### 第43話「脱出」より

ついに連邦軍は、戦争の雌雄を決すべくジオン軍の最終防衛線、宇宙要塞ア・バオア・クーに総攻撃をしかける。連邦軍は優勢のうちに闘いを進め、モビルスーツの一団が要塞へと取り付く。カイは敵陣一番乗りをしようとするが、ジムとボールに先を越される。

しかし、要塞内部にはさらなる敵戦力が残っており、討ち取られてしまう。味方に向かってカイは、自分を出し抜こうとしたからさ、とつぶやく。

は

ぼくだん  
爆弾を

はずした馬鹿って  
どんな奴？



## 第14話「時間よ、とまれ」より

クワン曹長率いるジオン兵の有志たちは、故郷に帰りたい一心でガンダムに爆弾を仕掛けることにする。作戦は成功したかに見えたが、アムロの必死の活躍で難をのがれる。

いつ爆発するとも知れぬ爆弾を命がけで取り外したモビルスーツのパイロットとは一体どんな奴か。興味をもった彼らは、地つきの青年団に変装してアムロたちの様子を見にやって来るのだった。

ひ

ひま  
暇はなし

ホワイトベースの

のりくみいん  
乗組員



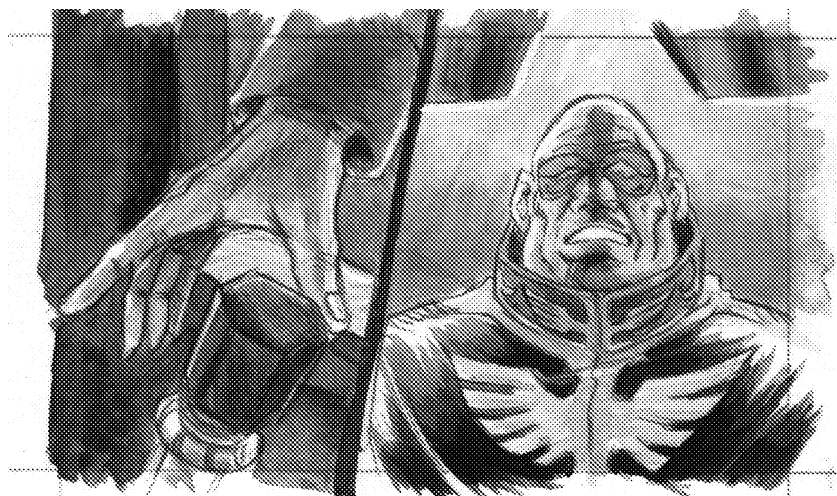
## 第12話「ジオンの脅威」より

サイド7以来の戦闘につぐ戦闘で、ホワイトベースの乗組員たちはろくに艦を整備する時間も取ることができぬまま、いつ果てるとも知れぬ逃走を続けていた。

彼らはみな疲れ果て、怒りっぽくなる者もあり、まためまいを起こす者もいた。機械の調子は落ち、エンジンの出力も大きくダウンしていた。

ふ

ふほう き  
訃報聞き  
おも つえ  
思わず杖を  
と お  
取り落とし



## 第10話「ガルマ散る」より

シャアは、ザビ家に対する復讐の手始めとして、ホワイトベースとの戦闘のどさくさにまぎれて、ザビ家の末弟ガルマ・ザビ大佐を罠に陥れて殺す。その訃報はすぐさま月の裏側に位置するジオン本国にもたらされた。

ガルマの父、ジオン公告の公王デギンは、その報告に驚き取り乱す。呆然として王座から立ち上がると、持っていた杖を思わず落としてしまう。

へ

へいき  
平気だぜ

あつ そうこう  
厚い装甲

もつゴッグ



## 第26話「復活のシャア」より

北アイルランドのベルファストにある連邦軍基地で羽根を休めるホワイトベース。その基地に向けて、マッドアングラー隊の潜水艦から二機のモビルスーツが発進した。ジオンの水陸両用新型モビルスーツ「ゴッグ」である。

厚い装甲をもつゴッグは、連邦軍の機雷群をやすやすと突破すると港に上陸した。連邦軍は自走式バルカン砲でこれを迎え撃つが、ゴッグにはまるで歯がたたない。

ほ

ほく  
僕にだって  
みらい  
未来のことは  
わかりません



#### 第42話「宇宙要塞ア・バオア・クー」より

ジオンの宇宙要塞ア・バオア・クーに総攻撃をかけることになった連邦軍。いよいよこの戦争にも雌雄を決するときが近づいていた。最後に勝利を手にするのは、連邦かジオンか。だが闘いに参加する兵士たちには、自らの生死すら予測することはできないのだ。

そんな彼らにアムロは無事を保証するが、あらためてセイラに問われると、ニュータイプにだって未来のことはわからないと言う。

ま

まおとこ  
間男が

しっかり<sup>み</sup>見ている

<sup>わか</sup>別れぎわ



### 第13話「再会、母よ・・・」より

ホワイトベースは、アムロの故郷の近くに一時停泊する。アムロはこの機会に、幼いころに別れた母に会いに行く。久しぶりに顔を合わせた親子は感激の対面をするが、二人の心には大きな隔たりがあった。アムロの母カマリアは、敵兵に銃を向ける我が子を許すことができなかったのだ。

もはや母とともに暮らすことはできぬと悟ったアムロは、ホワイトベースの仲間たちの元へと戻っていく。



み

み  
見せてくれ  
れんぽう  
連邦スーツの  
せいのう  
性能を



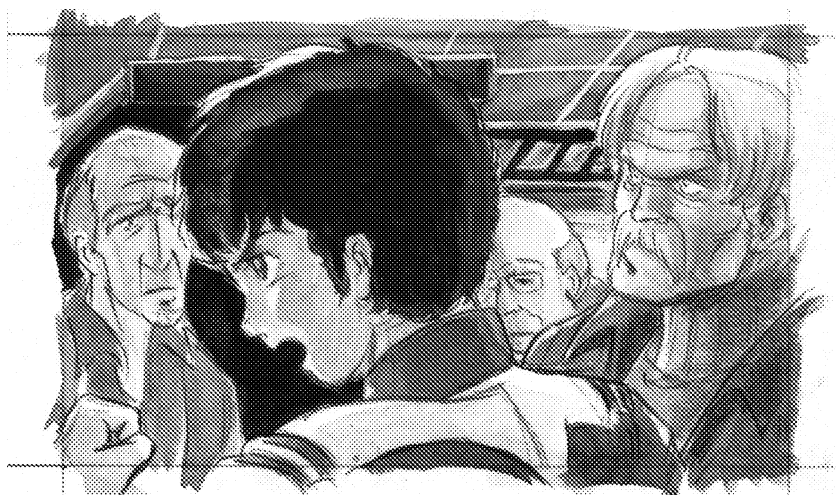
## 第2話「ガンダム破壊命令」より

偶然連邦軍のV作戦に遭遇したシャアは、サイド7に攻撃をしかける。サイド7を脱出したホワイトベースはやむなくジオンとの戦闘を開始する。シャアは連邦軍の開発した新型モビルスーツの性能を知ろうとやっきになる。

「赤い彗星」の異名を持つ彼は、自分用に赤く塗装したモビルスーツ「ザク」に乗り込み、敵モビルスーツの秘密を探るべく闘いを挑んできた。

む

<sup>むり</sup>  
無理をして  
がんばってるのに  
<sup>ほく</sup>  
僕たちは



## 第7話「コアファイター脱出せよ」より

突然のジオン軍の攻撃によってサイド7を追われたホワイトベースには、避難民生活を余儀なくされた老人たちが乗っていた。地球出身の彼らは、かつてスペースコロニーへの移民を強要され、今また住み慣れたサイドを追われたことに、大きな不満を抱いていた。

彼らは、再び地球の大地に降り立つことを要求し、ブリッジへとやって来る。彼らを守るために闘い傷ついていたアムロは、そんな彼らの身勝手さに怒りを覚えるのだった。

め

めいちょうし  
名調子

オープニングの  
ナレーション



第1話「ガンダム大地に立つ！！」より

人類が増えすぎた人口を宇宙に移民させるようになって、すでに半世紀が過ぎていた。地球の周りの巨大な人工都市は人類の第二の故郷となり、人々はそこで子を生み、育て、そして死んでいった。

宇宙世紀0079、地球から最も遠い宇宙都市サイド3はジオン公国を名乗り、地球連邦政府に独立戦争を挑んできた。この一ヶ月あまりの戦いで、ジオン公国と連邦軍は総人口の半分を死にいたらしめた。人々は、自らの行為に恐怖した。戦争は膠着状態に入り、8ヶ月あまりが過ぎた。

も

もう僕は  
ホワイトベースを  
お降りるんだ



### 第17話「アムロ脱走」より

ガンダムを出撃させろとの命令を無視してガンダックで出たアムロを、ブライはガンダムから降ろそうとミライに提案する。快く承諾しないミライをさらに説得するブライ。だが、そんな二人のやり取りをアムロは偶然聞いてしまう。

彼らに自分の存在を認めてもらえなかったことがアムロには悲しく、そして許せなかった。彼はついにホワイトベースを降りる決心をする。

や

やらせはせん  
やらせはせんぞと  
ドズル・ザビ



### 第36話「恐怖！機動ビグ・ザム」より

陥落寸前のジオン軍要塞ソロモンから、恐るべきモビルアーマーが発進した。ビグ・ザムである。強力な磁界を発生し、敵のビーム攻撃を無力化すると、連邦のモビルスーツ、戦艦を次々に撃破してゆく。

アムロはスレッガー中尉の助けを得てこれを討ち取るが、その機体の中から一人の兵士が現れ、機関銃で立ち向かってきた。ザビ家の次男ドズル・ザビである。彼の誇りは決して敵に屈することを許さない。

ゆ

<sup>ゆる</sup>  
許さぬぞ

たとえ兄<sup>あに</sup>でも

<sup>ちちごころ</sup>  
父殺し



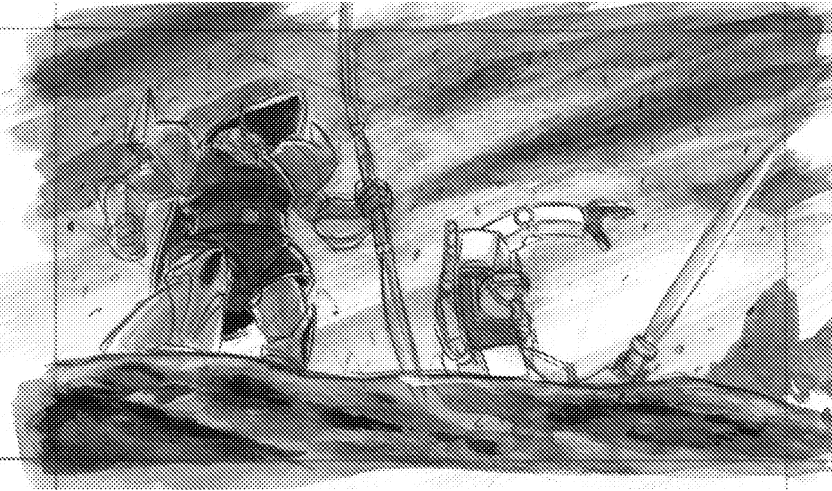
#### 第42話「宇宙要塞ア・バオア・クー」より

月と宇宙要塞ア・バオア・クーを結ぶジオン最終防衛線に迫る連邦軍との和平交渉に臨むため、ついにジオン公国の公王デギンは自らの乗艦グレートデギンをゲルソルバに向けて発進させた。

しかし、ソーラレイシステムによる勝利に固執するギレンは、これを使用して、父の乗る船もろとも連邦軍の一部を殲滅する。それを知ったキシリアは兄ギレンを父殺しの罪で射殺するのだった。

よ

より速く  
動いてくれよ  
ガンダムよ



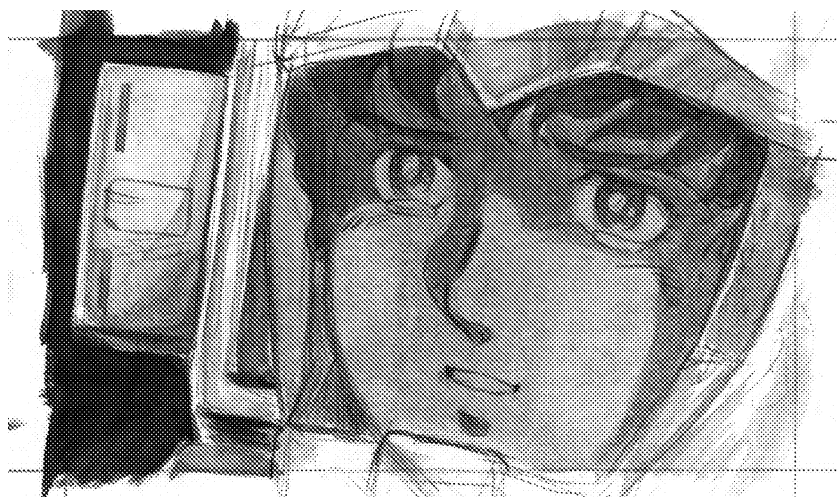
### 第38話「再会、シャアとセイラ」より

闘いの中でニュータイプとして覚醒していくアムロ。その彼のスピードに、ガンダムシステムの反応速度はついてゆけなくなっていた。

テキサスコロニーで、シャアの操る新型モビルスーツ「ゲルググ」と対戦するアムロ。シャアの攻めをかわそうとするアムロにとって、ガンダムの性能は既に十分なものとはいえなくなっていた。アムロは苦戦の末シャアを退ける。

ら

ララアには  
いつでも会いに  
行けるから



### 第43話「脱出」より

戦場で敵味方として出会ったアムロとララア。ニュータイプの二人は、わずかな時間で互いを理解し合う。しかしアムロはシャアを倒そうとして、誤ってララアを手にかけてしまう。

ジオンの宇宙要塞ア・バオア・クーに一人取り残された彼は、死が迫っているのを感じ、ララアのもとへと旅立つ覚悟を決める。しかし、まだコアファイターが残っているのに気づくと、脱出するのだった。



り

リュウホセイ  
の  
乗ってたたか闘う  
ガンタンク



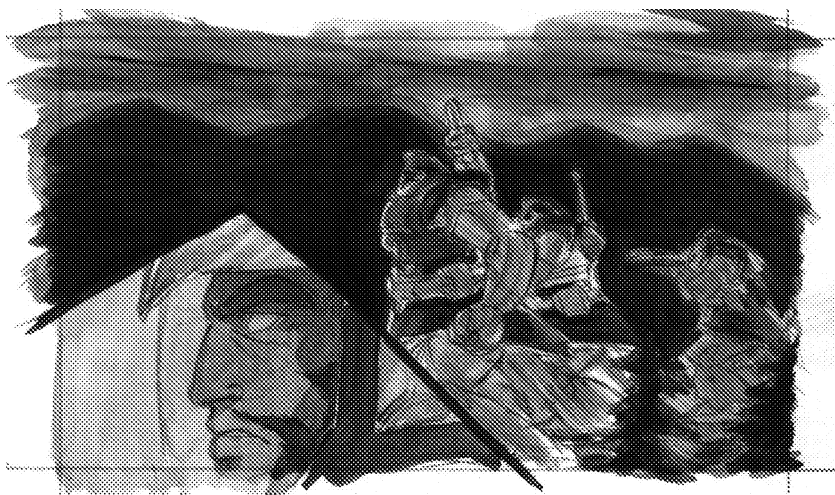
第9話「翔べ！ガンダム」より

ジオン軍の勢力圏内を彷徨い続けるホワイトベースにガルマ・ザビ率いる地上軍が繰り返し攻撃を仕掛けてくる。闘いに疲れたアムロはブライトの出撃命令を拒否するが、フラウ・ボウの言葉に動かされガンダムで出撃する。そしてガンダムのロケット・ブースターを利用した空中戦をしかけるのだった。

驚くブライトたち。ガンキャノンのカイとガンタンクにリュウ、ハヤトはすかさずガンダムを援護する。

る

ルウムでは  
レベルを捕虜に  
とったのさ



## 第24話「迫撃！トリプル・ドム」より

連邦軍のヨーロッパ反抗作戦「オデッサ・デイ」を前に、宇宙攻撃軍指令キシリア・ザビ少将は、腹心の部下マ・クベ大佐の下に、ジオン軍歴戦の勇士、「黒い三連星」の異名をとるマッシュ、ガイア、オルテガの三人を送り込んできた。

彼らは、ルウム戦役で連邦軍の名将レベル将軍を捕虜にする戦功をあげていた。彼らは新型モビルスーツ「ドム」に乗り込み、ガンダムにジェットストリーム・アタックで挑んでくる。

れ

れんぽう  
連邦の  
カラーがのぞく  
えりの<sup>した</sup>下



## 第22話「マ・クベ包囲網を破れ！」より

連邦軍のエルラン将軍とその副官ジュダックの二人は実はジオンのスパイであった。彼らはヨーロッパの主要な鉱物資源をおさえるマ・クベ大佐に、さまざまな機密情報を漏らしていた。

ジオンの制服に身を包んで、マ・クベのもとを訪れるミスタージュダック。だがその乱れたえりからは、連邦軍のカラーが見えていた。それをマ・クベに指摘された彼は、あわててえりを直す。

ろ

ロボットの  
ハロ組み立てる  
アムロ・レイ



第24話「迫撃！トリプル・ドム」より

連邦軍から孤立したまま逃走を続けるホワイトベースのクルーにとって、貴重な補給物資を届けてくれるマチルダ中尉は頼みの綱であり、アムロにとっては憧れの人だった。

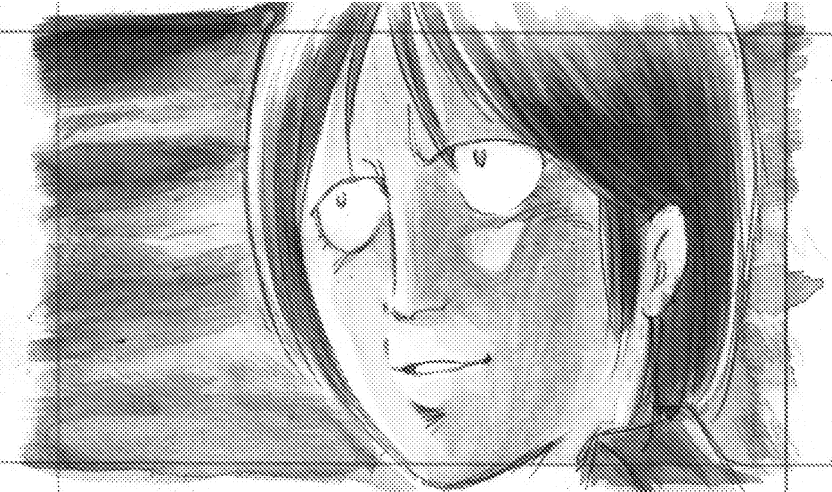
アムロはマチルダに、なぜ補給部隊に入ったのか、と聞く。すると彼女は、戦争という破壊の中で唯一物を生み出す仕事だから、と答える。アムロはその言葉から、自分が作り出したハロのことを思い出していた。

わ

わかってる

なんじゃくもの  
軟弱者さ

おれ  
この俺は



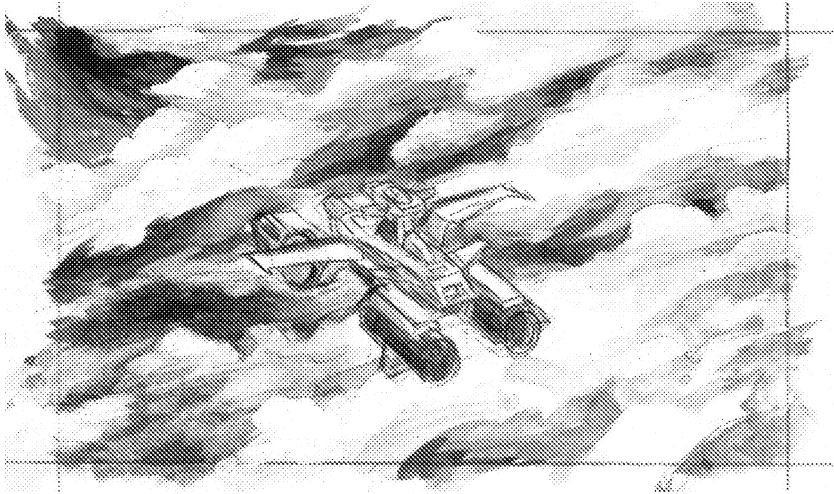
第27話「女スパイ潜入！」より

北アイルランドのベルファストにある連邦軍基地に到着したホワイトベースの一行は、ガンダムのパワーアップメカについてのブリーフィングを行う。だがカイはその場から席を外す。彼はそのまま軍に組み入れられてしまうのが我慢ならなかったのだ。

ホワイトベースを出て行くカイ。だが、ジオンの攻撃が始まると、彼の心には艦に戻る気持ちがあわいてくる。たとえ軟弱者と呼ばれようとも。

を

なんみん  
難民を  
の  
乗せて彷徨う  
さまよう  
ホワイトベース



## 第7話「コアファイター脱出せよ」より

サイド7からルナツー、そして地球へ。追われるままに逃走を続けるホワイト・ベース。シャアの巧みな戦術により、地球に降り立ってはみたものの、そこは当初の目的とは異なり、連邦の領域からはるかに離れたジオン軍の勢力圏のただ中であった。

サイド7からずっとこの艦に乗り合わせている避難民たちは、いらだちを深めていた。味方の軍から孤立したホワイトベースの迷走は続く。